事業番号	交付対象事業名	道の駅「奥津温泉」飲食機能の強化による滞在型観光と食の拠点化計画				iの駅「奥津温泉」飲食機能の強化による滞在型観光と食の拠点化計画 -							
۰	メニュー例の分野	5	観光振興・	讨内直	接投資			事業始期	平成29年4月				
2	政策5原則との関係	1	自立性	0				事業終期	令和4年3月				

1. 事務事業の概要

事業の概要:目的	事業の概要:交付金を充当する経費内容
本町の観光拠点である道の駅「奥津温泉」の食堂の隣に多目的交流スペースの整備を行うことで、食堂での郷土食の提供や農林水産物に付加価値をつける等の6次産業化、特産品開発に加えて、体験、研修、イベント等により、新たな地域交流の場を創出し、観光、食、文化を中心とした産業の活性化を図る。	道の駅「奥津温泉」多目的交流スペースの整備

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

(①対象(誰、何を対象にしているのか)			③対	象数の推移	単位	区分	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
	ア	道の駅「奥津温泉」の利用客	\rightarrow	ア	道の駅「奥津温泉」の利用客数	Y	見込	A4000000000000000000000000000000000000	ATAR SERVICE S	168,500	168,500
							実績	155,691	138,103	125,239	****************
	/	道の駅「奥津温泉」食堂の年間売上高		1	食堂の年間売上高	千円	見込	A42400***********	***************************************	50,400	50,400
	1	造00 新· 关序温水] 改至00 年间允工局		*1	及主00年间尤工同	111	実績	51,456	48,530	42,794	*************
	ф	道の駅「奥津温泉」新しい雇用者数		†	新規雇用者数	ı	見込	**************		1	1
		担の駅「奥洋温水」制しい雇用有数			利 况准 用有数 	^	実績	_	-	0	***************************************

②意	②意図(対象をどのような状態にしたいのか)										
ア	道の駅「奥津温泉」を利用してもらう										
1	道の駅「奥津温泉」の食堂を利用してもらう										
ゥ	道の駅「奥津温泉」の雇用者を増やす										

	4成	果指標(意図の達成度)	単位	区分	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
				目標	161,500	164,500	168,500	169,500
→	ア	道の駅「奥津温泉」の利用客数	人	実績	155,691	138,103	125,239	************
				達成率	-		74.3%	***********
				目標	49,500	49,800	50,700	51,300
→	イ	食堂の年間売上高	千円	実績	51,456	48,530	42,794	**************
				達成率	104.0%	97.4%	84.4%	************
				目標		1	1	0
→	ウ	新規雇用者数		実績	-	-	1	*************
				達成率	-	-	100.0%	*************

3. 事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	1	一般	款	06	農林	水産業費	IJ	Ę	01		農業費	目	06	農業施設費	
内訳	内訳 国庫支出金 県支出金			出金	町 債			その他特財			+	一般財源			合計	
予算(千円)	7,528					6,7		11			11,8	11,872		26,100		
決算(千円)	7,5	528				6,7	00		11,105			25,333				
主な	委託料						主な					委託料			1,469 千円	
支出事業内容	工事請負	費			2,148	千円	支出事業内容			工事請負費				22,147 千円		
(予算)	予 算) 備品購入費			2,452	2 千円 (決 第		[)	備品購入費			1,717 千円					

4 格証結果

4. 悯	4. 恢訨桁朱								
①)	成果実績の目標達	成度とその要因	②地方創生に対する事業効果						
	目標値以上	**7月豪雨の風評によって集客が望める時期に入込客が減少したため実 *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	ロ 地方創生に非常に効果的であった						
	目標値どおり		ロ 地方創生に相当程度効果があった						
√	目標以下		ロ 地方創生に効果があった						
			☑ 地方創生に効果がなかった						
③今後の課題解決のための改革改善の方法									
PRや	企画を拡充して、名	§種ツアー客による利用の促進や地域交流の場として提供できる機会を関	係機関と協力して推進していく。						
④評価委員会の意見 ⑤戦略KPIに対する事業効果									
が、個	道の駅全体の集客が落ち込んでいるように感じる。バイキングも当初手ごろな金額設定であったが、値上げにより魅力が下がっているのではないか。 多目的交流スペースの整備について、整備する前に戦略を立てておかないと魅力ある施設にな								
らない			│ │ ☑ 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない						